

貯法 遮光、室温保存

高単位水性ビタミンAD<sub>3</sub>E剤デュファゾール<sup>®</sup>AD<sub>3</sub>E

## 【本質の説明又は製造方法】

本剤は、従来の油性ビタミンAD<sub>3</sub>Eを水溶化したもので、体内吸収を容易にし、しかも長期間体内に蓄積されるよう製造した高単位水性ビタミンAD<sub>3</sub>E剤である。

ビタミンA、D<sub>3</sub>、Eは互いに相乗的に作用し、単独で与えるよりも一緒に与えることにより、効果をあげる。

## 【成分及び分量】

本品1 mL中

有効成分	含量
パルミチン酸レチノール (ビタミンAとして)	25,000 IU.
コレカルシフェロール	12,500 IU.
酢酸dl-α-トコフェロール	10 mg

## 【効能又は効果】

- ビタミンA、D、Eの補給
- ビタミンA、D、E欠乏による下記疾病の予防と治療  
運動障害、繁殖障害

## 【用法及び用量】

- 体重1kg当たり下記量を1日量として直接投与する。  
0.005～0.024mL
- 飲水から与える場合は、投与量を(1)より換算する。
- 間欠投与の場合は、(1)の1日量に投与間隔日数を乗じた量を5～30日に1回投与する。

## 【参考】

ただし、各動物の5～30日分の投与量として、

子牛 (200 kg)	5～144 mL
子馬 (200 kg)	5～144 mL
肥育豚 (60 kg)	1.5～43.2 mL
子豚 (20 kg)	0.5～14.4 mL

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は、効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 本剤を強制投与する場合、誤って気管に入る(誤飲性)可能性があるので注意すること。

(取扱い上の注意)

- 開封後はキャップをしっかりと閉めて、なるべく早めに使用すること。

## (専門的事項)

### ① 重要な基本的注意

- ・鶏、七面鳥においてビタミンE大量投与下(30、150 mg/kg)で、ワクチン等による抗体産生能が低下するとの報告がある。

### ② 過量投与

- ・ビタミンAは過量投与することによるビタミンA過剰症状(皮膚の変色、骨の肥大性増殖等)が起こることが報告されている。
- ・ビタミンA及びD<sub>3</sub>の過量投与により、子牛におけるハイエナ病の発生報告があるので注意すること。
- ・ビタミンDは過量投与による中毒(骨の脱カルシウム、軟組織化骨等)が殆ど全ての動物種で報告されている。

## 【薬理学的情報等】

### (薬効薬理)

- ・パルミチン酸レチノール(ビタミンA): 粘膜の異常乾燥と変性、角化、損傷、眼球乾燥症及び角膜軟化症を改善し、疾病に対する抵抗力を増す。また上皮組織の維持、骨、歯牙の成長に必要であり、成長促進作用を有する。
- ・コレカルシフェロール(ビタミンD<sub>3</sub>): 腸からのカルシウムやリンの吸収を促進する。また腎尿細管におけるCa<sup>2+</sup>の再吸収を促進し、血清カルシウム量を一定に保つ。また、骨へのカルシウム沈着を促し骨組織の硬化作用を高める。
- ・酢酸dl- $\alpha$ -トコフェロール(ビタミンE): 抗酸化作用を持つビタミンとして位置付けられており、不飽和脂肪酸からの過酸化脂質の生成を抑制する。

## 【包装】

1000 mL

## 【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL: 03-3264-7559

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

®登録商標

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

DHA05-GO2211